

# うちゅうせん新聞

広報係 '06 2月17日(金)発行

## ☆仙台市天文ボランティア会報☆

### 例会より

9月2日(金) 19:00~21:00 12名の参加

観望会について 今後6回分予定あり。内3回リーダーを決め、参加者はホームページで呼びかける。

9/10 鳴瀬町小野小(幼児低学年中心)10/8 東中田市民センターと松島・ウィザス 10/12 円田中 12月松森子供育成会とロイヤルパークホテル。

養成講座手伝い 9/24,11/26,3/11。

合宿予定確認、食事方法話し合い。

星まつりについて。12月17日を船長より提案

早見盤アストロアーツよりもらいました。10月1,2日 秋の合宿(福島県石川郡石川町)

10月22日(土) 芋煮会(野外・例会)

11月4日 定例会なし(天文台、休館日)

12月 せんたい星まつり

9月17日(土)15:00~16:30 11名の参加

観望会について10月8日東中田市民センターと松島ウィザスが重なります。ホームページでボランティアの参加者を募ります。(観望会の予定表配布)

石川町スターフェスタと合わせた合宿の予定。夕食、朝食について。一人一言をやっても早く終わりました。

10月7日(金)19:00~21:00 12名の参加

10月の観望会依頼4件の事前打合せ。準備

12/17 仙台星まつり予定:あまり見どころが無いので星空ライブのつもりで気楽にいきましょう。

芋煮:10/22 予定。会費500円。当日集まった人で買出しを10:30 集合

11月18日(土)PM3:00~5:00 11名の参加

観望会 12/23(祝)サンファン館(50組)、11/26 養成講座課外授業手伝い(2名) 次の例会確認、12/17 星まつり、12/22(金)百万人のキャンドルナイト(星降る音楽会(財)Melon クリスマスコンサート)後、観望(4名手伝い)、新年会 1/21 に、11/19 現代天文学教室あり、

外部イベント[社会施設とボランティアコラボレーション]参加自由、うちゅうせんのH16とH17の観望会の確認

3/11 養成講座最終回にうちゅうせんへの声掛け。

この冬は例年と比べて大雪が多く到来しています。それでもその合間をかいぐるかの如く活動は続いています。今回も発行が大幅に遅れましたが、広報係はこれからも地道に新聞の編集、発行を続けていきます。

12月2日(金)19:00~21:00 12名参加

観望会予定 12/22(木)星降る音楽会3名 1/23(金)サンファン館7名他欲しい2名 2/18(土)水の森キャンプ場 2月平日、長瀬小学校 来年度 4回巨理町図書館天文教室

星まつりについて:準備物、参加確認、記録写真、小物(腕章10個ゴム付けた)(シール印刷中)

新年会:日にち確認 1/21(土)定例会予定日。場所企画へ一任

1月7日(土) 15:00~17:00 15名の参加

新年1回目の例会はボランティア養成講座の佐々木さんが新乗船し、年末の大イベント「星まつり」や「石巻サンファン館」を終えた明るい話題でスタートとなります。今年(2006)の観望会は1/20からのスタートとなります。2/4は観望会が泉区と太白区の2ヶ所に分かれてのダブル観望会となります。こんなところ晴れてもらわなければ!



### 残念な芋煮会

10月22日は 10:30 集合、芋煮会+屋外例会・・・の予定でしたが悪天候で中止となりました。来年は、今年(2006)の分と併せ、2年分芋を食べましょう。

## 観望会より

小牛田養護 10月11日 参加者50名位 乗組員3名

高校生は初めて。ちょっと緊張しましたが、皆さん、とっても喜んでくださって、私のほうが幸せ気分になってしまいました!

空の状態は、現地に着いた時点で、半月が雲に見え隠れする生憎のお天気。10月の星空解説をしていたら、とりあえず月は観測できそうな空になってきました。急いで皆さんに外に出ただいて、望遠鏡計3台で、月だけ、見ていただいたんですが、皆、3台の望遠鏡を行ったり来たり、何度も感激してくれて、説明しながら本当に嬉しく思いました。そのうち、空も結構晴れてきて、コートハンガー(星の並びがハガーに見える)、ベガ、アルビレオなど見る事ができました。望遠鏡や星の事、また宮沢賢治の文章に詳しい子がいて、色々お話しして、感心したりもしました。

何回かの観望会がずっと曇りだったので、本当によかったです。~個人的には、吉田先生、と呼ばれて、とっても気恥ずかしかった私です。

円田中 10月12日(水) 10:00~15:00 うちゅうせん10名以上

前日に危ぶまれた天気も不思議と昼中は晴天。夕方から曇り。雲間から月や火星。終盤晴天。講座前には諦めていた天気も、開講時に雲間から月が見え出したのですぐに校庭へ移動。月を見ている間に、東の山から火星が昇ってきました。低空のため倍率がかけられずに、存在を確認した程度で理科室に戻り、秋の星座、星座物語、火星についてお話を聞きました。外は晴れて来たので一応 閉講。望遠鏡を見て自由解散としました。後半部では火星高度もある程度上がったので、模様は全員、極冠も一部の人が確認していき、月面のゴツゴツした様子には大人も子供も声をあげて喜んでいました。カシオペアや北斗七星が見えないので、別の方法で北極星を探す方法や、二重星、星雲、星団などなど盛り沢山の星空を楽しむことが出来ました。

100万人のキャンドルナイト12月22日(木)

「星降る音楽会」では、プラネタリウムの中で敬子さんの星空案内と生演奏を、公園の中では、キャンドルと星を見る会を楽しんでいただきました。

22日の冬至の日当日は、準備の時間が近づくにつれ雨~風~雪とどんどん悪天候に!キャンドル担当のMELONのボランティアさんたちは本当に大変だったと思います。ところがコンサートが始まった頃から雪と風はやみ、しだいに星まで見えはじめてきました。私は、プラネタリウムや外を行ったり来たりしていましたが、キャンドルが点灯中、初の試みでプラネタリウム

そして、永井さんたちの望遠鏡が並び、星を覗く人々。本物の星も見えていたので安心しました。

サンファン館12月23日(金)参加者50名ほど乗組員9名 心配だったお天気もピーカンとは行かなかったものの、火星・すばるをはじめ、h-alphaやアンドロメダ銀河などを楽しんで貰う事が出来ました。晴れているうちに!と言うことで最初に観望・第二部で星座物語・銀河鉄道の夜・最後に星座ビンゴの構成でした。

参加者は最初31名でしたが、観望時でも室内でも申し込み外の方が結構参加され最終は50人位だったでしょうか?

雪は少し残っているだけでしたが、寒さはすこぶる付き!この時期ですから当たり前ですが・

(11/26 養成講座課外授業手伝い)

東中田市民センター観望会 10月8日(土) (親子25名、うちゅうせん乗組員5名) PM6:30~8:00

「あの☆のなまえは」のタイトルで市民センターが企画し30名以上の申込みがあったようですが、当日はあいにくの曇天で当日の欠席者は10名ほどとなりました。それでも、小学校低学年の親子が参加し熱心に耳を傾けていました。

当日の内容は、プロジェクタによる星座物語、星座ビンゴ、太陽系を中心とした星の話といった順番でした。特にビンゴは最後の一人がビンゴになるまで続け27星座で無事終了しました。最後の一人になるとなかなか出なくなりますね。参加賞の星座シールが好評でした。記念になりますからね。

太白小 2月4日(土) 参加者120名程(4年57名) 乗組員5名

予報では曇り。向こうに着いた時点でかろうじて月が見える程度。さらに始まる頃にはすっかり曇ってもうだめかと思っていたのですが・・・

今月の星空、星座物語(オリオン)、天文クイズ、ビンゴと進めてもう終わろうかと思った頃、なんと晴れてきたのです。土星、月、スバル、オリオン座、冬の大三角など全員が見ることが出来ました。曇天&晴天のフルバージョンを楽しみました。こんなこともあるんですね。

初の試み、賞品がかかった天文クイズ。とっても盛り上がりました。ジュピターさん、提供ありがとうございました。

それから何といてもほーしどさん。あなたを晴れ男に認定します。これからもよろしくお願ひします。

驚いたのは、4年生の子供たちが冬の星座をよく知っていること。外に出ると次々に「あつ、オリオン座だ」「スバルが見えてる」などど口々に言っていました。

参加のみなさん、お疲れ様でした。寒かったけど、心はあたたかくなりましたね。

## 観望会続き

根白石 2月4日(土) 参加者9名 乗組員 4名

夕方、見えていた月が開始の頃には見えなくなってしまいました。当日参加の申し込みが有り、欠席連絡・となった方が数名いらっしゃったようで、参加者は子供4名+大人5名の総勢9名での実施となりました。

星を見ようと思った方が、悪天で欠席・はある面やむを得ない事かも知れませんネ!

挨拶・自己紹介の後、今月の星空説明(須藤さん)次が星座物語の2本立て(オリオンとさそり・星の仙人:伊川さん)引き続き、星座ビンゴ(大石さん)で盛り上がりました。ここまで終わって終了時刻の8時まではかなりの時間が有りましたので、地球儀を持ち出しいろいろなお話をしながら、無理やり?質問をして貰い、そこからまた話を発展させて・なんて、嫌がらずに聞いて貰っているようだな~などと勝手に解釈(悪い癖?)調子に乗ってしゃべっていたら予定の時間を20分ほどオーバーしていました。

喜んで貰った様でもあるのでマア・いいか! お付き合い頂いたお三人にはお詫び・です。

家にたどり着いた時には、西に傾いたお月様が姿を見せていました。あざ笑っていた訳では無いでしょうが・・・そう見えたのはひがみ以外の何物でも有りません。宝示戸さんのご利益が出たようで・・・ 大人数の方にまわって貰って大正解・でしたネ!

2006 新年会 17名の参加

新年恒例の星まつり打上げ兼、新年会は中華料理の店、じゃんかい屯(たむろ)で、同好会メンバーも迎えて貸切り状態で行われました。新潟の胎内天文台の鈴木さんも参加し日本海側の雪や、年末の停電の話などタイムリーな話題に時の過ぎるのを忘れませんでした。終了後は、コーヒーショップで酔いを醒まし・・・大酒飲みが、いなかったみたい。

天気が曇っていたため寒空の中、星を見ようという人は今年いませんでした。

なお、この日の例会はありませんでした。



新年会

石川町合宿(スターフェスタ参加)9月30日~10月2日

初日(30日,金曜日)夜は結構見る事が出来たとの事でしたが、我々が参加した1日(土)の夜はわずかししか星の類は見る事が出来ませんでした。

それでも、大小さまざまな望遠鏡も見られました。30cm双眼・反射で火星をチラッと見たり、望遠鏡ショップのブースを冷やかしたり・・・と楽しみは各人各様だったと思いますがそれなりだった事と思います。

天文台講座より1月6日(金) 15:00~

天文台講義室で小石川先生による今年の天文現象についての講義が有り会場いっぱいの参加で熱気に包まれていました。

まずは光害が少なく、日本では見えない珍しい星が見られるオーストラリアの星空への誘いと、オーロラの話で皆さんを引きつけるスタートでした。その後2年半後に迫った新天文台の設備の話、そして、いよいよ今年の星の話題についてプロジェクタ映像を映しながらの説明でした。初心者にも分かりやすい説明はさすがその道のプロといったところで時間が短く感じられました。ボランティアとしては、子供相手に説明するのでもぜひ、見習いたいと思います。ところで、今年の日体現象は割と地味で大きな話題が無いのですが、せめて天候に恵まれ楽しめる事を願っています。(11/19 現代天文学教室)

天気予報が無くなる日は?(教えて!gooより)

質問:天気予報は、過去の気象条件を基に発表していると思いますが、天気予報ではなく例えば、一週間後の天気 といった具合に言い切れる日は訪れるのでしょうか?(うちゅうせんも行動を取り易くなるかも)

答1:多分来ません。

地球上の雲の動きはカオス的に変化しているものですので、理論上、「短期的なものしか予測できない」と言い切ることができてしまうんです。もちろん、現在のカオス理論を覆すような、なにかとてつもないシステムが完成すれば別ですが。

答2:先ず、地球をセンサーで張り巡らし太陽の活動状況を幾つもの観測惑星(人工衛星)で調べて、すべてのデータを無数とも思えるコンピュータで計算すれば1週間後の天気は、言い切れるかもしれません。が100%はムリでしょう。次に、地球が何らかの天変地異などか、人間の愚かな行いかで、地球の都市がドームで覆われたりすると、天気予報では無くなり、天気のスケジュールになってしまった場合は1ヶ月先も、決まると思いますね(さて、専門家のご意見はいかがでしょう)

河北新聞より(2月2日版)

真冬の夜空楽しむ

——巨理で星と花火を見る会

寒い冬の夜を親子で一緒にらおうと「星と花火を見る会が」先日、巨理町の長瀬小で開かれた。

同小父母教師会の主催で、親子約150人が参加した。仙台市の市民グループ「天文ボランティアうちゅうせん」の会員が案内役を務め、真つ暗な校庭で、全員が



代わる代わる望遠鏡をのぞき込んだ。夜空にはオリオン座や冬の大きな三角形、カシオペア座などがくっきりと見え、子どもたちから歓声が上がった。星を観察した後は、花火を打ち上げ、熱いこんにゃくおでんを味わった。



星まつり

2005・仙台星まつり 12月17日(土) 16:30~20:30 毎年恒例となった星まつり当日は15時前から会場の市民広場にうちゅうせん天文同好会メンバーが続々と集まり自慢の望遠鏡やレンタルの機材、看板等着々と準備を進めていました。暖かい程度の良い天気の中、明るいうちから宵の明星を捕らえ盛り上がりつつありました。そして暗くなっての本番、月と火星そしてスバルやメシア星雲など・・・たっぷりの時間のなか、ページェントを見に通るかかった皆さんを呼び込んで一緒に星空散歩を楽しみました。また、暗いなか懐中電灯で照らしながら星座物語のナレーションとクイズを繰返し行っていた皆さん、本当にお疲れ様でした。後半は天文車「ベガ」も参加し祭りに花を添えましたが、いつしか雲が広がり撤収開始となりました。実行委員の皆さんには打合せや資料作成など事前準備ありがとうございました。お客さんも星の世界に触れて満足いただけたことと思います。日中は小春日和の温かさでしたが、日没後は気温も下がり長時間それも立ち通しは正直言ってきつかったです。次回は交代制にしませんか・・・?



星空ライブ回顧

星空ライブの始まりは1999年の忘年会の帰りがそのスタートですから、7回目の12月を迎えた事になります。呼び名は「ゲリラライブ」がスタートで、その後「天文ライブ」を経て、現在の「星空ライブ」にいたっております。

編集後記

★昨年末は家の引越し、パソコン故障、仕事の多忙など思うように活動できずこの新聞発行も延び延びになってしまいました。今年はすべてにおいて新たな環境でスタートしました。さて、どんな年になるのかな?(渡辺)

★家に歳時記のカレンダーを見て疑問に思うことがあります。旧暦大晦日は新月で真つ暗闇と覚えていたのですが、どうも新月は月の最初の日1日らしいのです。これは昔からそう定められていたのでしょうか?それでも真つ暗には違いないので大晦日(普通の晦日も)暗闇をかってに新月と思っていたのでしょうか?ア~眠れない中島です。

★最近土曜日仕事関係の用件が入りなかなか活動に参加できません。帰る途中で夜空に輝く星々が一日の疲れを少しでも癒してくれそうです。(今崎)

記事がそろわず発行予定が1ヶ月遅れてしまいました。皆さんの身の回りの話題やニュースを・・・ぜひ広報係へ